

わくわくドキドキの一步
今日から一年生

田沢の未来に光を灯す第一歩

「やまもと里山ベース」始動！

3月5日、やまもと農村交流センターにて、株式会社チャンピオンによる「チャンピオンやまもと田沢地域共創拠点(やまもと里山ベース)」の開設式典が行われました。多くの報道陣が見守る中、地域の自立に向けた新たな灯がともりました。

10年後の未来に絶望を感じることがありましたが、諦めずに歩んだ先に、大きなパートナーを得ることができました。深刻な人口減少の中、この拠点は地域の救い。企業と共に、あらゆる可能性に挑戦していきます。



田沢コミ振 後藤弘会長



酒田市 澤田健児農林水産部長

里山DAY i n たざわを通じて田沢の自然と食の素晴らしさを実感しました。企業と地域が二人三脚で取り組むこの形が、全国から注目される先進事例・モデルとなることを期待しています。



(株)チャンピオン
高橋芳秋代表取締役社長

里山の自然と人々の知恵は大きな宝です。ここを多様な人々が集い、協働する場にしたい。当社は地域商社として、商品開発や販路開拓を担い、地域の宝を都市部や全国へと広く販売することで、外から呼び込んだ活力が地域内で循環する仕組みを構築します。小さな挑戦を積み重ね、田沢の新たな可能性を切り拓いていきます。



令和9年の新拠点へ向けて

この拠点は、令和9年に供用される旧田沢小学校（新拠点）へと続く「希望の架け橋」です。清流米やナメコ、モクズガニといった地域の宝を世界へ届け、持続的な田沢を創る挑戦が、今ここから始まります。



旧阿部家の改修による閉館について

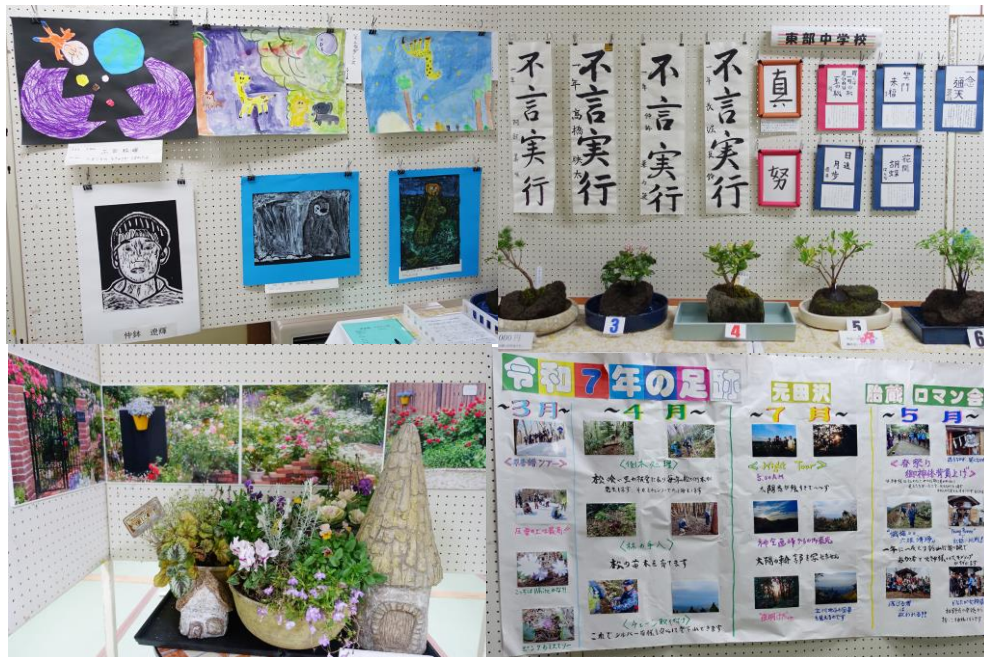
令和8年秋頃より、令和9年末まで、かやぶき屋根の全面改修のため、閉館します。好評だった小正月等の行事については、場所を変え実施するなど、検討を行います。



てんこ盛り 2/9～2/15

たざわの文化祭

今年の文化祭は、作品展示会場を和室に、催しをホールで行いました。作品展示については、見る人を引き付けるような展示の工夫をし、ホールではコーヒーショップ、抽選会、射的等のコーナー、テーブルとイスを配置したため、地域の方のステージ発表などみんなが楽しめる会場になりました。





酒田市平田民生委員・児童委員
越坂 広也 さん（西坂本）

私は現在、酒田市指定水道設備店、農業を仕事にしており、当コミ振の副会長と民生児童委員の地域活動も兼ねております。

水道工事で一番印象に残っているのが、酒田大火です。戦争は知りませんがテレビで見る爆弾攻撃の後のようでした。現在は、一人暮らしの高齢者の家が非常に増えています。水道でSOSの電話が来ますが、「何とかしてやろう」と思っ仕事をしていきます。

農業は、蕎麦を栽培しています。水害と地域の高齢化で米は無理な状況になりました。耕作放棄地を無くしたいものです。

コミ振の仕事は、方向性が違い戸

惑いの方が強かったですが、最近はどうやく慣れてきました。

民生児童委員の仕事は、地域の人たちが安心して暮らせる為の活動だと思ひます。高齢化が進む中、我々の仕事は大変であり、また使命感を持って頑張りたひと思ひています。「がんばり人」と呼べるような人間ではありませんが、この地区が安心して暮らせればと、思っ努めていきます。

私達は先人の人達を見本にして、また踏み台にしてやってきました。これからは、我々が良き踏み台になっ、子供や孫世代の人には大きく羽ばたいてもらいたひと思ひています。

一生懸命ひたむきに地域と関わり活躍している人をご紹介します。

みんな、おべっだか～ おらほの かがやき人 がんばり人



田沢コミ振教育部会事務局員
阿部 千春さん（山元）

令和五年から自治会の推薦で教育部会員になりました。当時は子供もが小学生だったので、陶芸教室や子供会のバス研修などいろいろな活動に参加しました。楽しかったです。子供会でのカヌー体験は小学校以来でドキドキしましたが、子供との思い出となっっています。活動を通して、保護者同士の付き合いもでき、今も続ひています。令和七年には事務局員として声をかけていただき、今年で一年ほど携わってききました。事業についての話し合いなどにも顔を出す機会が増え、今までは「参加」という意識だったか、「責任」や「事業について考える時間」が増えしました。ただ楽しいだけではなく、どう

したら参加してくれた人が喜んでくれるか、部会の中で意見を聞ひていろいろな考えがある事に驚かされることもあり、自分の中で世界観が広がったような思ひです。大きく言い過ぎかもしれませんが（笑）
今年で活動に参加した中で、今年酒田花火大会を見に行っったことが印象に残りました。混んでいるなどの心配がなく、ゆったり見れたので参加して良かったです。
今年事務局員としての立場で参加して、いろいろな苦労や達成感を知れたので、来年度は自分の思ひなどが形にできたらいいなと思ひながら、一年間取り組んで行こうと思ひます。

田沢コミ振 フォトダイアリー

12/21 子供会親子レク



旧田沢小学校の体育館を使って、地区子供会親子レクを行いました。モルックと二つのボールを使ったドッジボールを楽しみました。

2/11 旧阿部家の小正月



今年の旧阿部家の小正月には三十七名の参加者が集まり、子ども達の飛び交う声が響き渡り、親子一緒に楽しまれたようです。

2/11 紅花染め



楯山木通庵で初の「べにばな染め体験」を開催し、十三人が参加。ピンク色のオリジナルハシカチが見事完成。

3/6 でごぐり百万遍念仏



今から二六八年前頃より、農耕の春を迎えて健康と豊作を願って、貴船神社春祈禱の際に行われてきたものです。

3/8 2026 ALL JAPAN
Uni-dancing Competition



田沢地区の中学生と社会人、5名参加

酒田ユニサイクル ケセラさんが、青森県弘前市で行われた、全国一輪車競技大会舞台演技部門に出場し、準優勝に輝きました。銀メダルを掛けた選手の笑顔は最高でした。

森の楽校 2026

2月1日(日) やまもと農村交流センターを会場に、きのこの植菌体験を行いました。16名の参加者が「ヒラタケ」「なめこ」の種菌をほだ木に打ちました。お昼には地元の食材を使ったなめこ汁とおにぎり、蕎麦が振る舞われました。



～ 参加者の声 ～

- 今日は楽しかったです。来年の秋、収穫を楽しみにしています。
- ナメコとヒラタケと種類があって魅力的でした。ご飯も美味しかったです。

あとがき

さあ、答え合わせをしましょう。覚えていますか？前回のあとがきで、「学問は何のためにするのか」という話しを書きました。私が聞いた答えをここで書きますね。【自分の人生を、自分で考えて決められるようになるために、学問をする】

人に言われて行動をしたり、人に頼ってばかりでは自分らしさが無くなります。しっかり物事に向き合って、自分で判断していくためにも、学問は必要不可欠なものだと言えるでしょう。

長堀

